編＋はじめに		頁	章		頁	節		頁	細目	頁	細々目	頁
第一編	古代の武蔵	1										
			第一章	大化の改新前後の関東	3							
						第一節	関東諸国の開拓と国造設置	3				
						第二節	律令制下の武蔵	6				
						第三節	渡来氏族と新興貴族の武蔵開拓	11				
			第二章	武蔵武士の興起	18							
						第一節	武蔵の雄族	18				
						第二節	桓武平氏の勃興	25				
						第三節	平良文と将門	33				
						第四節	良文の子孫	42				
						第五節	平忠常の乱と源氏	50				
						第六節	清和源氏の関東制圧	54				
			第三章	武蔵の武士団	59							
						第一節	兵（つわもの）と馬	59				
						第二節	秩父平氏の発展	75				
						第三節	河越氏の興起	95				
						第四節	大蔵館の襲撃と秩父氏	104				
						第五節	保元の乱と武蔵武士	111				
						第六節	党・高家の発生	117				
						第七節	平治の乱と秩父平氏	127				
第二編	中世前期の河越	131										
			第一章	鎌倉幕府の創業と河越氏	133							
						第一節	源頼朝の挙兵と武蔵武士	133				
						第二節	河越氏の非運	145				
						第三節	頼朝の死と北条氏の興隆	163				
						第四節	比企氏の乱と畠山氏の乱	167				
			第二章	北条執権政治下の河越氏	186							
						第一節	河越氏の再起	186				
						第二節	承久の乱と武蔵武士	189				
						第三節	武蔵国留守所総検校職の復活	197				
						第四節	鎌倉中期の河越氏	204				
						第五節	河越氏をめぐる周辺の武蔵武士	218				
						第六節	鎌倉時代末期の河越氏	238				
			第三章	河越氏の没落	250							
						第一節	鎌倉幕府の滅亡	250				
						第二節	入間川御陣と河越氏	257				
						第三節	平一揆の蜂起と河越氏の滅亡	277				
						第四節	武蔵の一揆と上杉氏及び河越氏	292				
			第四章	河越荘の繁栄	306							
						第一節	皇室御料としての河越荘	306				
						第二節	河越荘の範囲	316				
						第三節	河越氏館跡について	324				
						第四節	富裕な河越氏	333				
						第五節	河越荘と河越茶	342				
						第六節	中世の仏教と河越	353				
						第七節	武蔵野の古道	363				
第三編	中世後期の河越	379										
			第一章	扇谷上杉氏と太田道真・道灌父子	381							
						第一節	関東管領上杉氏	381				
						第二節	永享・嘉吉の乱と上杉氏	388				
						第三節	扇谷上杉持朝の武蔵制圧	402				
						第四節	扇谷上杉氏時代の河越城	408				
						第五節	扇谷上杉持朝と太田資清	421				
						第六節	河越千句	431				
						第七節	太田資長入道道灌	439				
						第八節	長尾景春の乱と道灌の活躍	450				
						第九節	道灌の死　附太田氏一流系図	459				
			第二章	上杉氏時代の文化	470							
						第一節	文芸都市河越	470				
						第二節	医聖田代三喜	499				
			第三章	北条氏時代の河越	504							
						第一節	関東管領上杉氏の衰退	504				
						第二節	関東管領家の没落と北条氏治世の到来	532				
						第三節	北条氏時代の関東の情勢	546				
						第四節	「小田原衆所領役帳」と河越付近における北条氏家臣の分布とその知行	566				
						第五節	北条氏の滅亡と河越落城	575				
						第六節	北条氏時代の河越城と城下町	581				
			付編	中世の神社と寺院	595							